



川^{かわ}辺^べのヨシ^{はら}原^なでギョギョシ^{なん}と鳴^{なり}くのは、何^{なん}という鳥^{とり}なの

ヨシ^{はら}原^なで鳴^{なり}くのは、ヨシキリ^{なかま}の仲間

5～6月^{がつ}ごろに川^{かわ}辺^べのヨシ^{はら}のしげ^なったあたり^なで、ギョギョシ^な、ギョギョシ^なとにぎやかに鳴^なくのは、オオヨシキリ^なです。胸^{むね}の毛^けは白^{しろ}っぽい黄^{きいろ}色^{いろ}で、背^せ中^{なか}の羽^{はね}の色^{いろ}はスズメ^なのよう^なな茶^{ちやいろ}色^{いろ}、体^{たい}長^{ちやう}は18センチメートル^なくらいある小^こ鳥^{とり}です。夏^{なつ}に日本^ににわた^つてくる鳥^{とり}で、うるさく鳴^ないているのは、自^じ分^{ぶん}のなわ^なばり^なをまわり^まりに示^しすのと、メス^めを呼^よぶため^{ため}です。

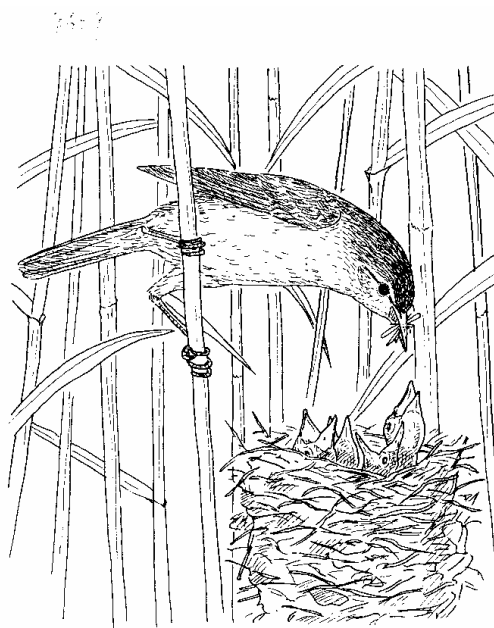
ヨシ^{はら}は、毎^{まい}年^{とし}、冬^{ふゆ}には根^ねだけ残^{のこ}してか^はれ、春^{はる}、また、新^{あたら}しい芽^めが^でてき^ます。オオヨシキリ^{はら}は、ヨシ^{はら}のか^かれたく^くき^きや、葉^はなど^なを^{あつ}集^{あつ}め、新^{あたら}しく育^{そだ}ったヨシ^{はら}のく^くき^きとく^くきの間^{あいだ}に、巣^すをつ^つく^くを作^{つく}ります。

およそ1^{げつ}か^か月^つで、おとな^{とり}の鳥^{とり}になる

オオヨシキリ^{はら}は、1回^{かい}に4～6個^この卵^{たまご}を産^うみ、2週^{しゅうかん}間^{かん}ぐら^らいあ^あた^ためると、ひな^なが^かえ^えります。ひな^なのえ^えさ集^{あつ}め^めは母^{はは}鳥^{どり}の役^{やく}目^めで、ガ^がや^やチ^ちョウ^{ョう}の幼^{よう}虫^{ちゅう}やク^くモ^も、イ^いナ^なゴ^ご、バ^ばツ^つタ^たなど^なをと^とつて^てき^きてあ^あた^たえ^えます。

ひな^なは、卵^{たまご}か^から^らか^かえ^えつて2週^{しゅうかん}間^{かん}も^もす^すれば^ば巣^す立^だち、さら^らに2週^{しゅうかん}間^{かん}ぐら^らいは親^{おや}鳥^{どり}の世^せ話^わを^を受^うけ、や^やが^がて親^{おや}か^から^らは^はな^なれ^れて^て生^いきて^てい^いき^きます。

ヨシ^{はら}を^を切^きつて、く^くき^きの中^{なか}の虫^{むし}をと^とら^らえ^えるこ^こと^とから、ヨシキリ^{はら}という^な名^な前^{まえ}が^がつ^ついた^たとい^いわ^われて^てい^います。(監^{かん}修^{しゆ}・今^{いま}泉^{せん} 忠^{ちゆう}義^ぎ)



ヨシ^{はら}に^に作^{つく}ったオオヨシキリ^{はら}の^の巣^す

